

石川町の史実

題字：有波良枝さん

地蔵坂

地蔵坂は、石川町と石川仲町の坂下から山手本町1番地の坂上までの一本道のことを言う。そもそもなぜ地蔵坂と名づけたのだろうか？それはかつての地蔵坂にあたる坂は地元の人々を通る山道であったのだが、次第に本牧の方へ訪れる人々が増え始め馬や車が通り始めると、道が狭いということと道路工事を行った。その際に、泥の中に60cm位のお地蔵様が埋まっていたのを掘り出して、そのお地蔵様を坂の途中に祀ったことが地蔵坂の由来である。また濡れ地蔵の由来は江戸時代に「きよ」と呼ばれる若い女郎が海に投身した翌朝に、地蔵坂のお地蔵様が水に濡れていてさらに海藻が首から前垂掛けのように下がっていて海へ身を投げた娘の魂がお地蔵さんに乗り移ったと噂され、後に人々はそれを濡れ地蔵というようになったのだ。

そして当時の石川町3丁目（現在の2丁目）の河岸から地蔵坂の途中の蓮光寺辺りまで賑やかな緑日の催しが行われた。大勢の人が集まり坂下の鶴屋呉服店周辺ではコックや遊技であった。また夏の緑日には、金魚屋、風鈴屋、綿菓子屋、新粉細工屋、玩具屋、ベッコウ菓子屋あるいはカルメ焼屋などが軒を連ねた。今ではほとんど見られなくなったマゼチレンガス灯の火が、華やかに暗に浮いて見えた。当時の緑日は、どの家庭にもなくてはならない必需品が多々、町民にとっての地蔵坂の緑日は必要不可欠なものだった。



かつて地蔵坂は関内・埋地地区と、本牧方面への数少ない交通路であったため、横浜のメインストリートであった。また坂の下には人力車、荷車の後押しを仕事としていた人たちがいた。また2

濡れ地蔵祭

昔はよく緑日が行われていた地蔵坂も今は緑日を行っていない。しかし現在では石川町地蔵奉賛会が主体となって、2012年度は8月26日に濡れ地蔵祭が行われた。今年度は初の試みとしてイベントも一緒に行った。ここではSOUL MUSICが演奏された。SOUL MUSICとは1950年代から1960年代初期にかけてアメリカで流行した、ゴスペルとブルースから発展して出来た音楽のジャンルで、R&B(リズム・アンド・ブルース)の一種である。なぜ石川町にSOUL MUSIC?と思う方もいらっしゃるが、ここ石川町の近くの本牧周辺には戦後しばらく米軍基地が置かれた。石川町にもアメリカ人が多く訪れて、その影響を受けて、石川町でも60年代ころからR&Bがはやるようになったのだ。そこで今回は昔の石川町を思い出してもらおうという考えも兼ねてSOUL MUSICを演奏し



代目のお地蔵様は最初、坂上にあつたが、お参りに行くにいくとどこかで現在は坂下にある。昔は地蔵坂を馬や牛も引き連れて上っていたそうだがさすがに馬や牛もなくなったらしいがかつては彼らの水のみ場もあったそう。ちなみに馬車道にある十番館というお店の前には今もなお馬や牛用の水のみ場が残っている。石川町はこのように地蔵坂を中心として、人々が行き交い発展していったと言える。

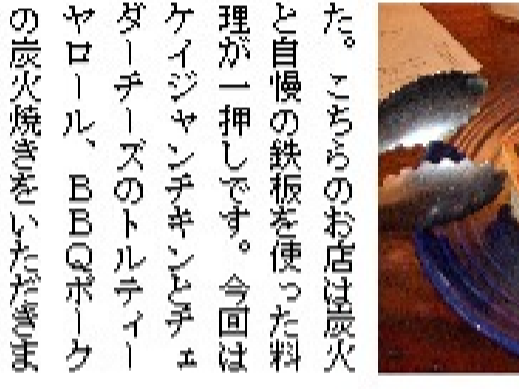
しかし1911年の山手隧道（山手トンネル）の開通、1928年の打越の切通しの開通によって通行量が減少した。このため店を閉じる商人が少ずつ増え始め徐々に地蔵坂が衰退してしまつた。今では昔の地蔵坂の繁栄を垣間見ることが難しくなっている。

たのだった。またこのイベントではフードコーナーなどを設けて地元のお店や中華街などからも多数出店された。そしてなんと注目して欲しいのは、このイベントで日本初のBROCK PARTYを行ったということである。BROCK PARTYとは主にアメリカなどで行われている、通りを止めてマナーが会場となり催しを行うことである。また今回のイベントは濡れ地蔵の供養祭×BROCK PARTYということと折衷が見られた大変珍しいイベントであった。このイベントに対しては、主催者の関係者や3丁目西部の有波基金長も大変絶賛されていて、また来年もぜひ開催したいと口をそろえて仰っていた。



第2回目は、石川町商店街のgreenさんにお願いさせていただきまして。現在は石川町、馬車道、みなとみらいの3店舗でお店を構えているっしやいます。ここ石川町店は2008年12月16日にオープンしました。

た。こちらのお店は炭火と自慢の鉄板を使った料理が一品です。今回はケイジャンチキンとチーズ、ターチーズのトルティーヤロール、BBQポークの炭火焼きをいただきます。トルティーヤロールは見た目も鮮やかかつ、甘くておいしいドラゴンソースとの兼ね合いが絶品！BBQポークもお肉がすくく柔らかくて、こんなにおいしいお肉は初めて食べました！



お酒はビールとワインがメインで、ビールは日本の地ビールが日替わりで味わえます。そしてメニューもグランドメニューだけでなく、日替わりのお勧めメニューは店舗ごとに違うそうで常連さんにも飽きさせないような食事を提供しているそうです。お店の雰囲気は名前の通りグリーンな感じと、木のイメージにこだわっていらっしやってニューヨークのレストランをモチーフにしたそうです！すごく大人な雰囲気です。若者の私にも丁寧にお酒、料理の説明をしてくれました！また「すべてのお客様に楽しんでほしい」ということをモットーに石川町店では



は全面喫煙可能となっております。しかしそこにはお客様自身にもマナーやルールを守って頂けるようなお店作りをしているそうです。とても紳士でかっこいいお店です。是非……足を運んでみてください。

最後に、今回レポートさせていただいたgreenさんには貴重なお時間を割いて頂き、熱く語って頂いた店長の渡辺正幸様にはこの場を借りてお礼申し上げます。レポーター 石川祥太

私たちが記事に広告を載せたいという方を募集しております！また石川町に存在する歴史的相关信息に關しての情報をお持ちの方も私たちにその情報を教えていただくと大変嬉しいですよ。ぜひこちらにメールを送ってください。

広告募集

住所 神奈川県横浜市 中区石川町1-8
電話番号 045・662・3993
平日/17:00~26:00
土日/16:00~26:00

akitakanakana@excite.co.jp